

えびあん

6

立川と語ろう 立川に生きよう

June 2013

Écoutez Bien Vol.31 No.343



柴崎分水

柴崎町に桑畑がたくさんあった頃、集落にそって小川が流れていたという。玉川上水から引いた水路、柴崎分水だ。今でも一部きれいな流れを保っているが、本流はすでに消え、小川があったことすらわからない。消えた流れも含めて、鈴木功さんに柴崎分水を案内してもらった。

1590年、家康の命を受け、江戸城ならびに市中の用水をまかなうために井の頭池や善福寺池から引かれた神田上水。街作りが進み人口が増加すると、神田上水だけではまかなえなくなってきた。そこで1652年、幕府が考えた新たな上水計画、それが多摩川から水を引く玉川上水だった。翌1653年、玉川兄弟がわずか8ヶ月で、羽村から四ツ谷大木戸まで43kmの掘削を成功させたことは、当時の水路工事事情を考えれば驚異的なことだった。以後、玉川上水は江戸への給水のみならず、左岸、右岸へと分水していくこととなる。そのひとつが柴崎分水だ。

1688年に分水願いを出していたにもかかわらず、許可が降りたのは1737年になってから。「当時の柴崎村には湧水があり、他の地域に比べて余裕があるとみなされたのだろうか。当初は素掘で、今でもその名残は一番町先に見られる」と鈴木さん。柴崎分水水路の取り入れ口は、現在の松中橋。最初の目的は、飲料水、水車そして田圃への灌漑用水だったが、後には生活用水として重宝され、各所に洗い場が



中央線の上を通る柴崎分水(ここが昔の山中陸橋)

作られた。

柴崎分水を歩いてみる。集落を屈曲して流れているので昔の道が見えてくるのが楽しい。地形は北から南に、西から東に下っているが、水路は途中、東から西にあるいは南から北東に向って流れていたり、また中央線の線路をまたぐように流れていたりするので、おもしろい。鈴木さんが小川の中の石を持ち上げると、石の裏にカワニナやカゲロウの幼虫が見えた。「春の小川」さながらだ。鈴木さんが懐かしそうに「フナやウグイがいたこともあったよ」と話してくれた。

市内の都市開発が進むに連れ、柴崎分水の

案内人 鈴木功さん

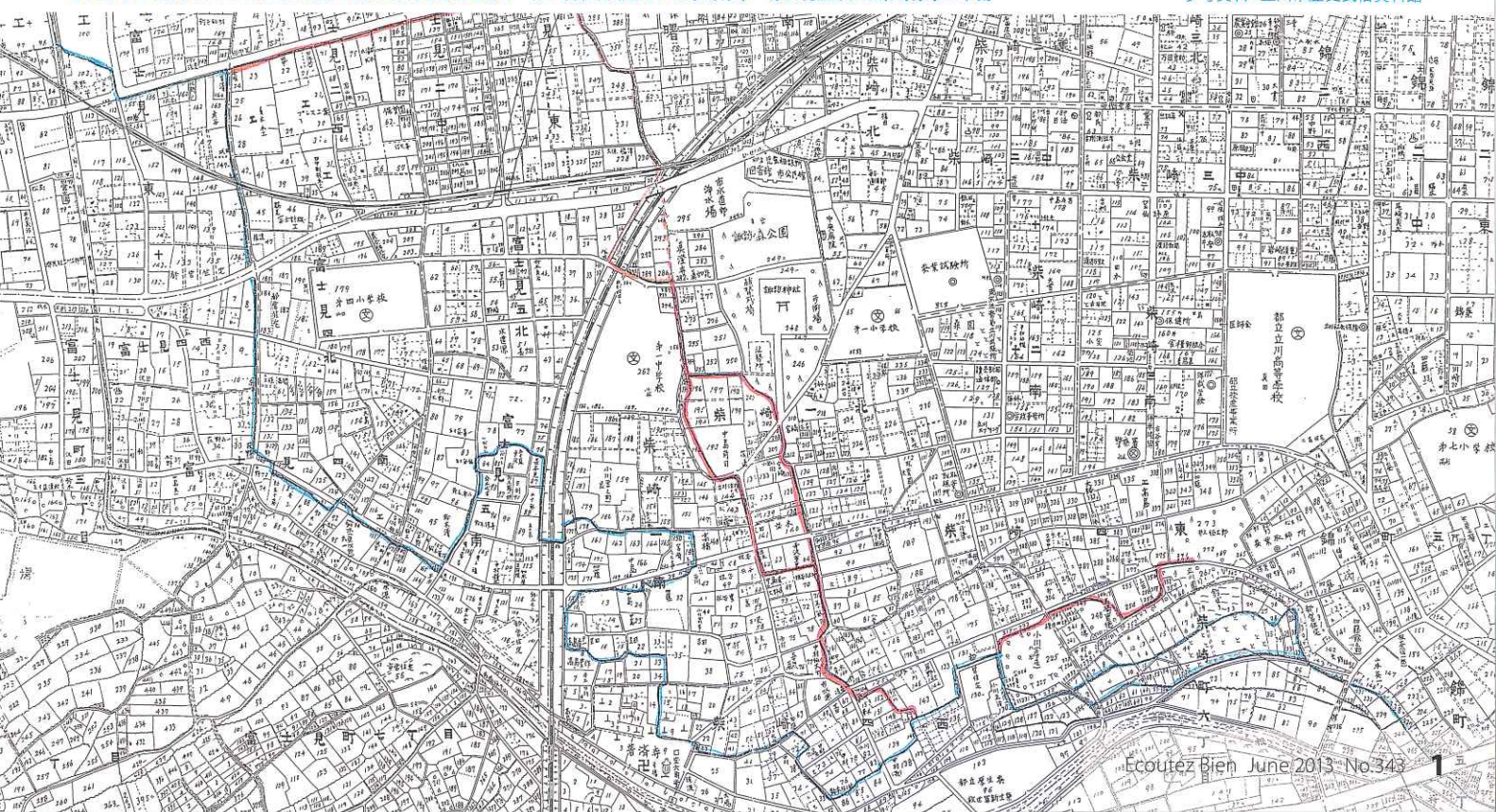


名残の洗い場

本流は埋められ消えてしまった。現在、富士見町から錦町へと一部姿を残して流れる小川。いつまでも美しい流れをを望む人は少なくない。

昭和37年の地図に鈴木さんが柴崎分水の流れを書き込んだもの 青が現在使用している柴崎分水 赤は廃止された柴崎分水の本流

参考資料：立川市歴史民俗資料館



集まりつなく、 ネット『生涯学習』

『知の木々舎』代表 横幕玲子さん

『知の木々舎』がブログを始めて5年目に入るようだ。

検索すると、40ほどの記事のもくじが出てくる。もちろんそれぞれにURLがついている。

月2回発行、異色のネットマガジン。今までに掲載された記事は約3000。

総アクセス数は108万にもなった。ブログは実質1人で運営している。横幕玲子さん、その思いとは?

—猫、飼ってらっしゃるんですか?

横幕 そうなの。壁、引っ掻いちゃってすごいでしょう? エイジって言うの。柴町二丁目で生まれたからエイジ(笑)。

—横幕さんは市民交流大学に関わってらしたんですね?

横幕 そう。1年だけ。公民館から学習館に移行する時、当時はこの自治体も「生涯学習」に一生懸命だった。市民が気軽にという理念は素晴らしいんだけど、市民交流大学には場所や時間など制約が多くて限界があると感じたんです。

—それでネットを?

横幕 そうなんです。時間も空間も自由で、少々テーマが堅くて一定のレベルを保った内容をと考えて始めてみました。そうしたら、それをネットで見つけてくれて、すぐ理解してくれた人がいたの。フリージャーナリスト 加藤 仁さん。『知の木々舎』の構想を話したら、「形を変えた生涯学習を提案している」と『本当の時代』というマンスリーマガジンで紹介してくださった。その年の暮れに亡くなったんだけど、当時まだまだヨチヨチ歩きだったから、もう少し見守ってほしかったですね。もう一人、若い人で、理解してくれた人がいたのよ。テキメンさん!

—ああ、国語研に招聘留学生で来ていたアイシェヌール・テキメンさん。

横幕 形を変えた生涯学習ということを目

白がってくれたのね。でもお会いできた日が、ちょうどトルコに帰る前日で、残念だった。

—『知の木々舎』のブログは今年何年になるんですか?

横幕 『知の木々舎』ができて5年。ブログは1年後に始めたので4年前。こんなに続くとは思っていなかった。だってね、始めの頃は本当に大変だったの。少しいじると機械が動かなくなる。蹴飛ばしたかった。今ね、もう80歳になるけれど、パリで現役ジャーナリストとして活躍している嘉野ミサワさんがね、当時の私と同じ思いをしているの。彼女が「この1週間インターネットが繋がらなかった」とか「打った字と違うのがでてくる」とかメールしてくると、彼女の気持ちがよくわかるの、ああ、格闘してるなって。

—でも横幕さんはすごいですよ。ブログをここまで駆使してらして。

横幕 元々がメカに弱いオバサンだから最初は大変だった。プロバイダーの「ブログを作ろう」というページから、テンプレートをひっぱってきたり、基本設定の指示に従って、ああでもない、こうでもないって、失敗しながら憶えたの。ブログ自体に制約があって、レイアウトは思うようにはいかないけど、まあ、何とか今の状態でおちついてます。

—熱意がすばらしいです。

横幕 大学卒業して愛媛に戻ったでしょ。仕事を持ってそれに燃焼するエネルギーがあったにもかかわらず、その後はそれらがブツブツと途切れてしまうことになった。親と喧嘩してでも自分のやりたいことを通す甲斐性もなく、縁があって結婚し子供を3人持った。夫は今では考えられないくらい亭主関白で、若い人が「夫が家事をしない」とか「育児を手伝ってくれない」とか言うでしょう? 何甘えているのと同じ思ってしまう。子供が病気だったり苦手な主婦業を完璧にこなそうとすると若いときの夢なんか全部捨てなきゃいけないと思こんでいた。

実はそうじゃないんだなって最近わかったの。田舎に引っ込んだり専業主婦になったりして、編集という若いころやりたかった仕事はできずに来たけど、今こうしてやっているでしょう? 思ったことはどこかで叶う。



思わなかったことは叶わないけど、思ったことはいつか叶うんだと心の底から思う。若い人の中にはいろいろな事情で実現していないこともあるだろうけど、思いはいつか叶いますよ。

—本当に楽しそうですね。

横幕 執筆者を探すでしょ? 興味のある方を見つけると資料を送ってアポをとるの。その時のワクワク感。ドキドキするの、わかるでしょう?

—ええ。ドキドキしますよね。私は仕事ですが。

横幕 私は仕事じゃないから、丸々ワクワク感です。自分の興味だからちょっと偏向しているかもしれないけれど。でも、読んでみるといろんな人、いるでしょう? 『知』はいろんな『知』があると思うから。

—そうですね。有名人も多い。どうやって探すんですか?

横幕 ツテやネットで。この人面白そうって思ったら、資料送るんです。ツテで紹介された方にも必ず資料は送ります。図書館を検索して著書があれば読んで会いに行く。時流で探すこともあるんですよ。一昨年は安保50年なので、何かないかと探している内に早稲田の森川知義先生に「60年安保6人の証言」があるのを見つけて転載をお願いしました。

—えくてびあんもオバさんがやっていますが、オバさんの強みってありますか(笑)?

横幕 あります、あります。私ね、ずっと奥ゆかしく振舞ってきたの。でも、この歳になったらそんな必要まったくない。お願いしてふられることもいっぱいあるけど、めげない。中曾根(康弘)さんにお会いした時、オバさんのブログに掲載されることに「光栄です」っておっしゃった。30分の間に3回も!

草の根メディアに成長したと話したら、あの方も政治家になった若い頃「草の根民主主義」を提唱されていたので、「草の根」ですっかり意気投合した。それがすごく面白かった。

—面白いですよねえ。このブログの目的は、「つなく」ということなんですよ。

横幕 そう! 今、『知の木々舎』の月刊読者は12,000人くらい。その見えない読者とつながっている。高齢の執筆者も多いけど、読者はちょっと若いから異なる世代をつな



いでもいる。お金になるわけではないからどこまでも自己満足よ。でも楽しい。若い人にはワクワクしますよね。年配者だってワクワクする。誰も傷つけないし、誰のじゃまにもならない。

—生き甲斐ですよ、もう。

横幕 仕事としてやったらこうはいかなかったかもしれない。若い時は自分で限界を作っていたけれど、今は限界を作る必要がない。オバさんだから(笑)。思えば親とも喧嘩できなかつたし、主人を捨てても行けなかつたし、自分が我慢することで丸く収めようとしてきた半生だった気がする。今はみんなが楽しい思いをしながらその中に我慢をしない自分がいるでしょう? それがとても楽しい。

—ご主人様がいらしたら、きっとビックリなさっているでしょうね。

横幕 そうよ。主人は私にこんなことができるなんて全く知らないで亡くなったから。子どもたちだって知らない。親のブログなんか見てる暇もないから(笑)。

—あ、エイジ君、戻ってきましたよ。

横幕 エイジは3匹目の猫で、3匹も飼った

ら今度こそうまく育てられるだろうと思ったのが甘かった。実はね、エイジは耳が聞こえないの。暴れてものを落としても聞こえないから平気。甘え下手でひざになんか乗ってこない。人間と同じで猫もいろいろね。8キロもある大猫が走り回るから家の中はもう大変。でも、家ってきれいに住むことよりも、暮らして汚れてなんぼだと思ようになった。この歳で会得した事は一杯あるの。

—横幕さんのこれからが知りたいです。
横幕 これまで通り、身の丈にあった発信を続けていきたいと思っています。陽気に、真摯に、グローバルに。

『知の木々舎』代表・横幕玲子さんが作るネットマガジン

<http://chinokigi.blog.so-net.ne.jp>

横幕玲子さん

愛媛県出身。津田塾大学を卒業後、愛媛に戻り高校教師を経て結婚。以来、専業主婦になり、奥ゆかしくできた妻、完璧な母であることに専念。しかし、元々持っていた向上心、向学心、好奇心が「人と人をつなぐ」ことへの関心として芽吹き、生協などの市民活動、公民館運営審議委員としての経験を栄養として、誰も踏み込んだことのない領域、ネット生涯学習『知の木々舎』として開花した。1945年生まれ。立川市在住。

初夏の立川こう歩く

えくてびあん散歩道 ①

立川を散歩するにもいろいろな切り口があります。桜の見頃には桜ウォーキング。水をテーマに歩いてもいい。歴史を辿るのも楽しいです。えくてびあんが歩くこんなコースはどうでしょう？第1回目は、初夏に涼しげなコースです。



ハケ下道は残堀川に沿って歩いてくるとやがて奥多摩街道に出ます。どちらのコースも奥多摩街道を西に向う(車が多い通りです。歩行には気をつけてお願いします)と、東京都農林総合研究センターが現れます。一般公開されている研究やセミナー等もあります。

さらにこの先には立川市歴史民俗資料館もあります。お帰りは、北上すると西立川の駅、また中央線に沿って戻れば立川駅です。



普濟寺の墓地を抜けると中央線と残堀川が交わる地点にやってきます。

至 日野



至 西立川

JR 青梅線

立川駅

至 国立

西に向うはごろも商店街の通りを歩きます。

羽衣町いちよう通りに面した立川商店。八百屋さんですが、おはぎが美味しくて有名です。



南武線の踏切を越えて



立川商店

はごろも商店街

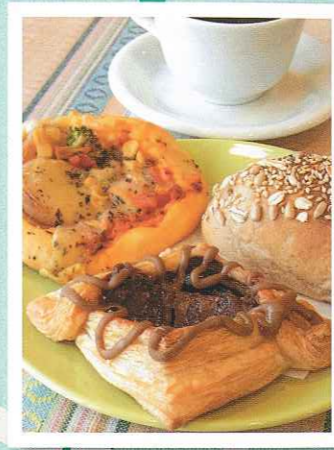
出発は西国立の駅です。駅からまっすぐでもよし、正業院方向へ斜めに北上してもよし。

JR 南武線

至 矢川



立川病院駐車場の方へ南下。やすらぎ通りに出ると、最近できた『立川市子ども未来センター』が。ここは『まんがばーく』でもあります。えくてびあんあります。



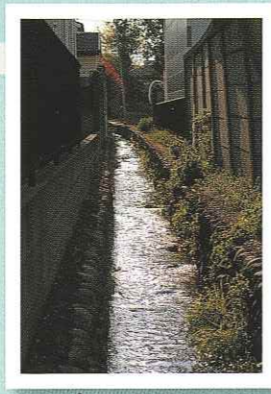
5本指の靴下ラサンテはここです。えくてびあんあります。

こんな素敵なお花教室もあるんです。いつもおしゃれだなあとと思います。

川野病院 ラサンテ

えくてびあんあります。

立川高校のすぐ近くにある、イートインできるパン屋さん BAKUBAKU です。外ならペットも可です。



柴崎分水にあちこちで出会います。

●真如苑 ●諏訪神社



写真は、中央線をまたぐように流れる柴崎分水です。奥多摩街道の少し北側にあります。山中陸橋と違って、立川村十二景にも描かれていたのはこのことで、昔はここが道でした。

柴崎分水



柴崎四西公園にある『学校発祥の碑』です。立川の第一小学校は日本で一番目に古い小学校です。



奥多摩街道

柴崎体育館北側にある路地を西に入っていくと、とても静かな住宅地。歩く時は騒がないで歩きましょう。

立川高校北 立川南通り Bakery Café Crown

空手の佐藤塾 はここです。

立川高校



都立立川高校です。文武両道の精神がすばらしい。



ここにも『えくてびあん』があります。イートインもできるパン屋さん。Bakery Café Crownです。

夏にはソフトクリームもいいですね！ ケーキ屋さん、ラ フレーズ シュクレ えくてびあんあります。



柴崎体育館駅から見るとこんな風に見える道。この段丘上の道を通ります。

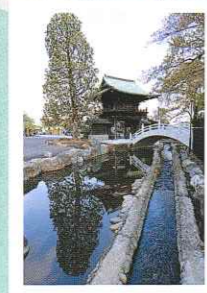


根川のせせらぎ



柴崎分水はたまに北上します。そんな流れを見るのも楽しい。

至 立日橋



普濟寺です。ここでも柴崎分水が見られます。



えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 錦町・柴崎町 のお店です。

- 錦町
- 立川市子ども未来センター B1F 526-1311
 - 川野病院 522-8161
 - 日本空手道 佐藤塾 548-7460
 - 三田花店本店 524-4187
 - いわさき痛みの整骨院 529-5123
 - にしやま薬局 525-9212
 - たましん 錦町支店 528-0511
 - そば処 高尾亭 522-2710
 - Natural Food Restaurant シェイナ 529-5921
 - エステランテ ロズマリ 529-3037
 - レストランテ ラ・ポボラリータ 528-5410
 - Garden&Crafts Café with 多摩 0120-412-877
 - 社会福祉法人 至誠学舎立川 527-7734
 - 社会福祉法人 至誠学舎 総合老人福祉施設 至誠ホーム 527-0031
 - にしき福祉相談センター 至誠介護相談センター 527-0321

- 柴崎町
- 諏訪神社 522-2968
 - 毎日新聞社グループ(株) 毎日広告社 522-6121
 - バスタビーノ はしや 521-3386
 - 高島ビル 526-0111
 - Hair Room MOON ZETTON 523-0961
 - 南武堂剣道具店 527-0197
 - PIZZERIA CANTERA NAPOLETANA 525-6290
 - おしゃべりカフェ トーク・スペース 527-1636
 - (株) 一心堂 527-3777
 - すかの歯科 540-2675
 - 中華ハルビン 527-1809
 - 紙匠 雅 548-1388
 - あすなろクリニック 529-2756
 - bottega al forno 595-9071
 - ピストロすず浦 525-9929
 - 入船茶屋 524-6266
 - カレー工場 Haiji ハイジ 548-0812
 - チーズフォンデュと欧風料理 クワトロ 528-2983
 - 串揚げ黒トントン 524-4521
 - Pasta Frolla 立川南口店 540-8033
 - レンタルスペース&ギャラリーカフェ 夢工房 843-7818
 - バセリドゥーエ 525-8486
 - 甘味処 石や 524-0862
 - 不動産コマツホーム 525-5811
 - 芹沢ガラス店 522-3065
 - かみゆい処 わ 522-8202
 - ファッションハウス ホマレヤ 525-2788
 - 中国四川料理 山城 512-8356
 - 酒歩 たから 528-1510
 - 服地・洋裁材料 藤レディース 528-5101
 - 純中国料理 北京大飯店 522-6393
 - 天婦羅・うなぎ 良銀 522-6702
 - レンタルボックス きらら 522-3913
 - 生活雑貨 EAST END 523-9636
 - 特むし銘茶・海苔 菊川園 526-2035
 - ジョイフルプラザ 0120-29-2775
 - めん心 堤屋 525-6602
 - hoccori* cafe 595-8379
 - (株) 立川紙業 527-6111
 - 中華小皿料理 得得屋 528-1060
 - Fashion You Me 523-1640
 - 手焼せんべい 雷神堂 521-5705
 - 石原薬局 523-4067
 - B級食堂 相模屋 525-9478
 - お菓子工房 ティーコジー 525-6366

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー! : 216ch

スカパー!で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

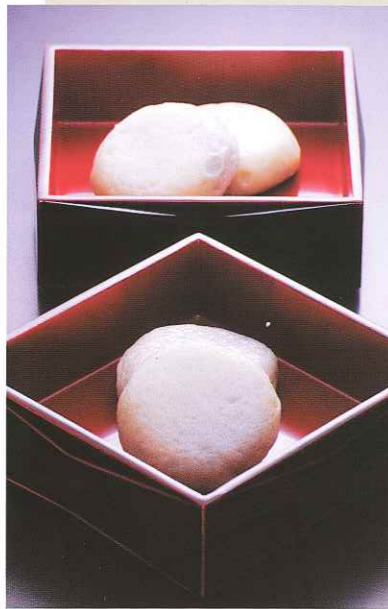
マイテレビ : 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

おじゃましま〜す! [15]

和菓子 梅乃



ゆでまんじゅう

上生菓子はもちろん、柏餅やうぐいすもちなど季節の和菓子がおいしいです。でも梅乃といえば、やっぱり「ゆでまんじゅう」。さっぱりしたあんこ、それを包む小麦粉の風味がいい。武蔵村山の味だそうです。さすがうぐいすの里ですね。定番の茶まんじゅう、それに最近ではミニまんじゅうもあるんです。普通のおまんじゅうの半分くらいの大きさですが、1つ50円。買いやすくて食べやすい。茶まんじゅう、おまんじゅう、どっちも食べたい時にいいですね! お子さんたちやあまり甘味を摂

れない方にも好評とか。

梅乃さんは栄町銀座通りにあります。昭和第一学園の北側、閑静な住宅地。お赤飯やお惣菜がある日もあります。いい季節、お散歩がてら立川のお店散策はいかがでしょう。

和菓子いろいろ



〒190-0003
立川市栄町5-14-1
TEL 042-536-1095
営業時間 9時~19時
定休日 日曜日



上生菓子各種

ケーキもあります

[16]

和洋菓子 たちばな



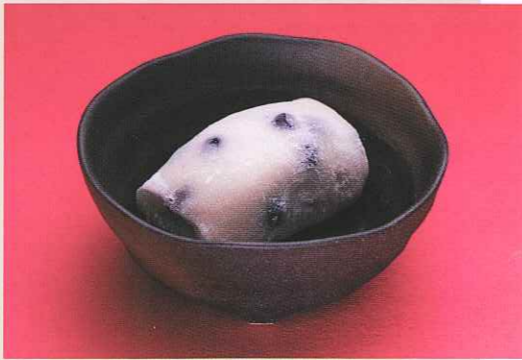
じょうまんじゅう

砂川七番の駅から2分。モノレール下の路面店です。実はえくてびあん発案の『みかん羊羹』を作ったのが、このたちばなさん。おまんじゅう類もおいしいですが、豆板と豆の入ったお餅にあんこをくると巻いた豆餅がおいしい! ちょっと塩気があって、あんこの甘味を引き立てます。立川から和菓子屋さんが減っているのは事実ですが、ま〜だまだ、おいしい味を作り続けているお店もあるんです。たちばなさんでは洋菓子も売っています。カ

ステラの横に串にささったお団子も。春には濃い緑のよもぎ団子にきな粉を別付けしてあるパックもあります。こういうのが、多摩の味ですね!



〒190-0002
立川市幸町5-2-16
TEL 042-537-0347
営業時間 9時~19時
定休日 水曜日



豆餅

街の話題

国立感染症研究所の市民セミナーをご存知ですか?

武蔵村山市にある国立感染症研究所 村山庁舎では、社会貢献活動の1つとして2ヶ月に1回、市民セミナーを行っています。「今回は貴重な機会になると思いますよ」とうかがって、4月6日(土)、第29回感染研市民セミナーを聴講してきました。当日は春の風に見舞われましたが、一般市民だけでなく医療関係者の方々も聴講、質疑応答も活発に行われました。

今回のテーマは『新規ウイルス感染症の中のSFTS(重症熱性血小板減少症候群)』。わかりやすく言うと、最近ニュースになっている『マダニが媒介する感染症』です。風が心地よい季節、ハイキングに出かける方も多いでしょう。そんな時にちょっと気になるテーマです。申込不要、無料でこんな大事な話が聞けてしまうなんて、本当に貴重な機会でした。講師は感染研ウイルス第一部長の西條政幸先生。専門的で難しいテーマを、一般人にわかりやすくお話ししてくださいました。ヒトで病気を起こす最近発見されたウイルスを年代別に、ウイルス名、媒介する動物、その病名や症状を説明、今年になって注視されている鳥インフルエンザについても少し言及されました。そしてこの日のテーマ SFTSに。感染経路、抗原・抗体検出系の開発、症例定義など、感染研でこんな仕事をしているのかと改めてわかることも。感染症をただ怖がるのではなく、「知る」ということがとても大事だと感じました。

ちなみに、えくてびあんは「犬の散歩の時、犬にマダニが付いてくることがあるが、そんな犬からの感染は?」と質問。西條先生のお答えは「理論的にはあり得るが、実際には限りなくゼロに近い。心配することはない」ということでした。ホッ!



公園になりました

富士見通りと奥多摩街道が交わる富士見町三丁目交差点。小さな公園ができて見通しがよくなったような気がします。公園については賛否あるところですが、交差点は見えることで防げる事故もあるそうです。あとは子どもたちのためにきれいに使っていきたいですね。こちらも街のからの情報でした。

「昭和天皇のご肖像」——昭和天皇記念館 企画展示

昭和天皇記念館では、昭和天皇のお誕生日でありました4月29日にちなんで、平成25年6月23日(日)まで企画展示「昭和天皇のご肖像」を開催しています。開館時間は9時半から17時まで。月曜日は休館です。



油彩 ホワイトハウスで歓談される昭和天皇 香淳皇后とフォード大統領夫妻

緑の花の桜です

ちょっと珍しい緑色の桜花です。御黄衣(ギョウイコウ)と言うのだそうです。昭和記念公園や神代植物公園などに行くと見られます。が、この花、実は目立たないけれど諏訪神社境内にもあるんですよ。今年もソメイヨシノの少し後にかわいい花を咲かせていました。街の方からの情報でした。



表紙の人

須崎久夫さん、剛史さん、心愛ちゃん、優来君、雷夢君

幸町にある須崎樹苗さん三代。久夫さんは立川に住んで7代目だそう。植木屋さんになって40年です。敷地の中に自分専用のプランコがあると優来君が教えてくれました。植木屋さんを継ぐのかな? 剛史さん、お子さん達には好きな道に進んでもらいたいそうです。いいお父さんだね。

かたこと

◆表紙のテーマは親子三代。これがなかなかむずかしい。それでも3年、まもなく36組目の撮影です。ご紹介くださる街の皆さま、そしてモデルを引き受けてくださる皆さま、本当にありがとうございます。◆須崎樹苗さんは卸もなさっているそうで、日本国中どこでも商圏なのだそう。撮影の合間、木々の間を走り回っているお子さん三人。今時木登りができるなんて、うらやましい! 早朝から、撮影にご協力くださいまして、ありがとうございます。◆5月号、鈴木功さんの撮影した写真は、錦町5丁目あたりの根川でした。いつも読んで下さっている方からの指摘でした。◆鈴木功さんと南口を改めて歩いてみると、普段見過ごしていることがたくさんあると気がつきました。「こんなことをネタにするのはえくてびあんくらいしかない」とよく言われますが、褒め言葉だと思って、立川を再び歩いて31年目を始めようかと企画しています。◆横幕玲子さんのエネルギー、見習わないといけません。えくてびあんが言う失礼になるかもしれませんが、とってもチャミングな方でした。「知りたい」という気持ちが、若さの秘訣なのでしょう。◆国立感染症研究所とお知り合いになれたこと、またひとつえくてびあんの財産が増えました。在立川の研究所などもそうですが、国の研究機関が大事なことを地道に頑張っている、そこには本気で仕事をする個人がたくさんいることを、えくてびあんは皆さまにこれからもお伝えしていきたいと思っています。新生になりました【多摩てぼこネット】共々、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

えくてびあん◎

6月号 第31巻 通巻343号

平成25年6月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0822
FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男
(WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



バルサの食卓

上橋菜穂子・チーム北海道 著

母と残酷な別れをしたエリン。川に流されて、たどり着いた先で蜂飼いジョウンに助けられ、最初に食べさせてもらったのがファコ。『獣の奏者 鬨蛇編』に出てくるパンのような食べ物だ。『乳に蜂蜜を入れて・』のくんだりは、美味しそうであると同時に、ジョウンの温かさを感じさせる。エリンにとったら異国の庶民料理だが、乳と蜂蜜と無発酵パンという素朴な料理がエリンに活力を与えていく。じんわりと心温まる場面で忘れられない。

上橋菜穂子さんの作品には、オリジナル食材とオリジナル料理が時々登場する。どれもが実に美味しそうで、できるものなら一度食

べてみたいと読む度に思う。実際に、ファコはパンのようでパンでなく、乳に蜂蜜を入れたものにつけて食べるというジョウンの話で、すっかり蜂蜜のファンになった。

物語の中の料理を実際に作者自身が調理し、文章と写真で綴るエッセー集が『バルサの食卓』だ。他の料理本とはひと味違う『料理本』。この料理をお店のメニューにしたら、街起こしできるんじゃないか? というほど美味しい1冊だ。

清水早耶香 (日野市)